

施策評価シート

施策等名称	夢のある子どもの育成	体系番号	0201010112
		主管課	こども課

1 施策基本情報

現状と課題	子ども達の自主性・主体性を育むためこども未来プロジェクト推進事業や子ども会育成会支援事業を実施しているが、参加者の確保に苦慮している。PRIに努めているが成果が出ないのが実情です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	子ども自身が主体性に目覚めて自立に向かい、自分の夢の実現を目指せるような地域づくりを推進します。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2027年度目標値	2027年度目標値
①	こども会議への参加者数の増	参加者数(人)	210.00	500.00	500.00
				500.00	500.00
				80.00	80.00
②	将来は茅野市で暮らしたいと思う15～18歳の割合	割合(%)	65.70	80.00	80.00
				80.00	80.00
③					

施策の柱1	名称	夢をもち、かなえることができる、自己実現の応援		主管課	こども課		
	詳細	子どもが自分自身を大事に思うこと、夢を持って日々の生活を送ることができること、自己肯定感と自己有用感を持ち、自己実現ができる子どもが育つ環境づくりが必要です。今後も、子どもと大人が茅野市の未来を創るパートナーとなり、子どもの参画によるまちづくりを推進していきます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	こども会議への参加者数の増	参加者数(人)	210.00	500.00	1 こども未来プロジェクト推進事業	実施
	2	将来は茅野市で暮らしたいと思う15～18歳の割合	割合(%)	65.70	80.00	2	
	3					3	
						4	

施策の体系	名称			主管課			
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1	
	2					2	
	3					3	
						4	

施策の柱3	名称			主管課			
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1	
	2					2	
	3					3	
						4	

基本政策間連携

施策等名称	夢のある子どもの育成	体系番号	0201010112
		主管課	こども課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	こども会議への参加者数の増	210.00	150.00	119.00	26.00	-	-
1		500.00	30.00	23.80	5.20	-	-
変動要因等	2018年度	メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達成となった。					
	2019年度	こども会議の参加者数は実際に活動に参加するメンバーの人数が少なかった(昨年度の半分以下)ため、減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者をぼくらの未来プロジェクトメンバーにして開催した。					
	2021年度	2020年度をもってこども会議は終了					
	2022年度						
施策	将来は茅野市で暮らしたいと思う15～18歳の割合	65.70	50.00	70.00	-	-	-
2		80.00	62.50	87.50	-	-	-
変動要因等	2018年度	メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達成となった。					
	2019年度	アンケート結果については、これまでのPRや活動を見て、自主的に会議に参加した中高生が一定数いたことにより、昨年より割合が増加したと考える。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者をぼくらの未来プロジェクトメンバーにして開催したためアンケートを実施しなかった。					
	2021年度	※アンケート未実施					
	2022年度						
柱1	こども会議への参加者数の増	210.00	150.00	119.00	26.00	-	-
1		500.00	30.00	23.80	5.20	-	-
変動要因等	2018年度	メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達成となった。					
	2019年度	こども会議の参加者数は実際に活動に参加するメンバーの人数が少なかった(昨年度の半分以下)ため、減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者をぼくらの未来プロジェクトメンバーにして開催した。					
	2021年度	2020年度をもってこども会議は終了					
	2022年度						
柱1	将来は茅野市で暮らしたいと思う15～18歳の割合	65.70	50.00	70.00	-	-	-
2		80.00	62.50	87.50	-	-	-
変動要因等	2018年度	メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達成となった。					
	2019年度	アンケート結果については、これまでのPRや活動を見て、自主的に会議に参加した中高生が一定数いたことにより、昨年より割合が増加したと考える。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者をぼくらの未来プロジェクトメンバーにして開催したためアンケートを実施しなかった。					
	2021年度	※アンケート未実施					
	2022年度						

施策等名称	夢のある子どもの育成	体系番号	0201010112	
		主管課	こども課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	358,700		267,226	0.74	22,668	0.08	467,520	20.62	0	0.00
	うち一財(円)	358,700		267,226	0.74	22,668	0.08	166,520	7.35	0	0.00
	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)			新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊事業が実施できなかったため。		新型コロナウイルス感染症の影響により、こども会議の会場を市民館から市役所8階大ホールにし、人数を制限して開催したため。		動画制作に係る経費の増		令和4年度をもって予算事業は廃止	
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
総合評価	主な取組内容や成果	こどもまつりや縄文フェスティバルへの参加、こども会議の運営、古本カフェで挙げた収益で本を寄付するなど、メンバーが考え、実践するという一定の効果が出ている。		こどもまつりやこども会議の運営など、メンバーが考え、実践するという一定の効果が出ている。		新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より活動ができなかったが、リモート座談会等新たな試みで大人との関わりを持つことができた。		CHUKOらんどチノチノを利用する中高生を中心にメンバーを募り、自分たちの活動や市の取組を紹介する動画を作成・編集し、YouTubeに投稿することができた。		(R4・総括評価共通)市内の中高生の社会参加や子どもの意見の市政への反映、主権者意識の醸成を図るため、子ども版のまちづくり懇談会を開催した。	
	課題	メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達成となった。		活動に参加する意欲のある中高生のメンバーが年々減少する傾向にある。		活動意欲のあるメンバーの減少に加え、コロナの影響により予定していた活動ができなかった。		新型コロナウイルス感染症により参加者が少なく、また動画制作に係る取材等に行くことができなかった。令和3年度をもって事業は廃止。		(R4・総括評価共通)子どもたちの主体的な活動を促す、支援する市の取り組み方について検討する必要がある。	
改革・改善	改革・改善内容	メンバーが各中学校に勧誘目的で訪問しているが、これは毎年、こども会議後に実施している。市内の中中学生及び高校生の参加者を多くするために、勧誘活動を前倒してこども会議前に実施することで、こども会議のPRになり、参加者が増えると考えられる。		活動に興味を持ってもらいメンバーの参加率を上げるため、今後はSNSやリモート会議などICTを積極的に利用していく。		内容を刷新し、CHUKOらんどチノチノを利用する中高生を中心にメンバーを募り、自分たちの活動や市の取組を紹介する動画を作成・編集、YouTubeやSNSなどに投稿することで、子どもの社会参加を図るとともに、自己実現の場を作る。				「ぼくらの未来プロジェクト」事業の終了にあたり、子どもの社会参加を担う事業として新規事業を展開した。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1	1	1	1	1				
		重点事務事業	1	1	1	1	1				
理由	自己肯定感と自己有用感を持ち、自己実現ができる子どもが育つ環境づくりが求められており、本事業の取組を進めることで、子どもと大人が茅野市の未来を創るパートナーとなり、子どもの参画によるまちづくりを推進する必要があるため。		自己肯定感と自己有用感を持ち、自己実現ができる子どもが育つ環境づくりが求められており、本事業の取組を進めることで、子どもと大人が茅野市の未来を創るパートナーとなり、子どもの参画によるまちづくりを推進する必要があるため。		自己肯定感と自己有用感を持ち、自己実現ができる子どもが育つ環境づくりが求められており、本事業の取組を進めることで、子どもと大人が茅野市の未来を創るパートナーとなり、子どもの参画によるまちづくりを推進する必要があるため。						